

# ちば通研だより No.502

千葉県手話通訳問題研究会 (発行責任者) 米田 市子 (編集者) 渡辺 正夫  
住所：〒260-0022 千葉市中央区神明町 204-12 千葉聴覚障害者センター内  
FAX：043-247-1201 E-Mail：syuwa@nifty.com URL：<http://syuwa-chiba.la.coocan.jp>

## 2025年のはじまりです

～ 新年のごあいさつ ～

新年明けましておめでとうございます。

みなさまにとって、今年が健康で穏やかな明るい一年となりますよう心からお祈りいたします。

昨年はオリンピック、パラリンピックがパリで開催され、日本選手の活躍でメダルの数も過去最高となり毎晩はらはらドキドキ大いに盛り上がりました。そしてドジャーズの大谷翔平選手が50-50の大記録を達成し、愛犬デコピンの人気も急上昇、野球少年も増えスポーツ界は明るい話題で賑わいました。

一方、未だに終わらないロシアによるウクライナ侵攻や民族紛争に心を痛めた一年でもありました。

平和な日常がいかに尊く、いかにもろいものであるか、当たり前だと思っていた平和は人間の努力の積み重ねの上にあるとわかっていても、誰にも止められない世界の危うさに苛立つばかりでした。

元日を襲った石川県能登半島地震から一年、家屋の倒壊と津波で多くの方が犠牲となり、避難生活を余儀なくされる中、9月には記録的な大雨による奥能登豪雨が発生しました。時を選ばない自然災害への脅威にどう備えればいいのか、教訓を活かした具体的な地域づくりが求められています。石川県聴覚障害者協会の公式LINEで、災害救援対策本部からの情報発信により、現地の状況や現場が求める具体的な支援が明確にわかり、支援したい側も非常に参考になりました。

ろう協・サークル・地域班の3団体で、地域の特性にあった防災への取り組みができればと思います。

そしていよいよ、今年11月15日から2週間にわたり、東京デフリンピック2025が開催されます。日本で初めて行われる大イベントを応援し、気運醸成の活動を通して一人でも多くの市民に知ってもらい、デフスポーツを通して、聞こえない・聞こえにくい方への理解に繋がるような取り組みを、積極的に展開していきましょう。今年も一年間よろしく願いいたします。

(会長 米田 市子)

12月24日時点でのちば通研の会員数は326人  
(読者会員会員数は15人)  
2024年度の目標数は330人です  
数は力！みんなで会員を増やしましょう～



2025年1月1日 新年の挨拶

一般社団法人全国手話通訳問題研究会  
会長 渡辺 正夫

新しい年を迎えられた皆さま一人ひとりにとって素晴らしい一年でありますよう心からお祈り申し上げます

さて、2024年は全通研にとって記念すべき年でした。全通研創立50周年記念の式典及び祝賀会は、会員をはじめ関係者の皆さまのご協力のお陰で素晴らしい時間を共有することができました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

キャッチコピーである「50年の絆その先へ 歩み続ける全通研」のとおり先輩たちが築いてこられた歴史を大切にしながら、新たな歴史を刻むため多くの仲間とともにこれからも歩んでいきましょう。

全通研は、2024年度代議員会として2つの特別決議を公表しました。1つは未だに続いているウクライナとガザ地区の戦争について、もう一つは優生保護法による最高裁の勝訴判決についてです。

2つの問題の根底には、人権の問題があります。戦争はあらゆる人々の日常生活を奪うことになり、平和の尊さをあらためて感じさせられました。そして、優生保護法裁判で明らかになったことは「障害のある人を劣った存在として社会から排除していた優生思想はまだなくなっていない」という事実です。

さらに、手話を取り巻く環境は日々大きく変化しています。手話言語条例の制定が各地に広がり、差別解消法では合理的配慮が民間事業者にも義務化され手話通訳の派遣依頼が増加しています。

また、自然災害が繰り返される中、リアルタイムで正確な情報保障が受けられるよう強く求められています。聴覚障害者のコミュニケーションや情報保障をとおした豊かなくらしと、安心して手話通訳や手話通訳活動を担うことができる制度の実現をめざしましょう。

2025年は、手話通訳者の労働の実態から手話通訳制度のあり方を把握する大事な調査が行われる年です。今後、私たちがしなければならない課題は何かを明らかにする調査でもあります。皆さまにご協力をお願いいたします。

そして、いよいよ東京2025デフリンピックの開催まであと318日になりました。地域のろうあ協会と協力して、このデフリンピック開催をとおして共生社会の実現に向けてみんなで取り組んでいきましょう。

今年は巳年です。へビは脱皮を重ねて成長するので「復活と再生」を連想させ、不老長寿や強い生命力に繋がるといわれています。

全通研は研究・運動団体であることを再確認し、私たちがこれまで築いてきた全通研の活動をより充実・発展させていきたいと考えています。共に前進していきましょう。

## 地域班会議 報告

2024年12月1日(日)9時30分～12時00分まで、第3回地域班会議を、オンラインで開催いたしました。参加者は役員を含めて27人でした。

主な内容は以下のとおりです。

- 1 会員拡大…11月30日現在、325人です。目標は330人ですが、昨年度末の会員数は、皆様のお陰で達成しています。声かけ、お誘い、今後ともお願いいたします。
- 2 ちば通研だより  
地域班通信、11月号にすべての班から投稿があり、無事に発行500号を迎えることができました。引き続き、データ配信希望者を募集しています。
- 3 地域班講師派遣事業及び地区講座について  
今後も、年5つの班、5つの地区で開催していく予定。組織部の協力で、オンライン配信も可能となり、参加の幅が広がっている。皆様の参加をお願いいたします。
- 4 安否確認訓練、年度内に通告なしで実施する予定です。個人フォームを使用しますので、各班で確認をお願いいたします。
- 5 2025年定期総会に向けて、地区からの役員選出、選挙管理委員の担当変更があります。2月の地域班会議までに報告できるように、準備をお願いいたします。

最後に、11時10分～11時30分まで、ブレイクアウトルームを利用して、地区別会議を開催いたしました。各班の取り組みについての交流、2025年度定期総会や地区講座の開催に向けて協議しました。次回は、2月23日(日)オンライン開催の予定です。

参加された皆様、お疲れ様でした。

(組織部 鶴澤 恵子)

## 地域班会議 感想

12月1日にZoomで行われた第3回地域班会議に参加しました。Zoom開催の為、参加者確認等の開始は時間が必要のようでしたが、議題の進行がスムーズで、ちば通研集会やちば通研講座・地区講座・地域班学習など各種の講座取り組みなど盛りだくさんのお知らせがありましたが、各班の活動情報交換も必要な項目の伝達で済んだので、予定時間より早く終わりました。

地区講座等で、「一般の参加者の参加費500円をどのように届けるか」など意見が出されました。また、ブロックにわかれた情報交換などあり、2025年度の地区からの役員選出などについても話し合われました。

総会開催については、遠い地域から千葉まで参加するのは大変なので、ハイブリッド開催を望む声が多かったと思います。

(印西班 村上 容子)

12月1日に第3回地域班会議が開催されました。地域班会議では、千葉県内他地域の様子を聞くことができる他、他県や全国の動きや行事についても知ることができます。

今回は、11月3日に開催された『ちば通研講座Ⅱ』の報告があり、開催地となった松戸市として、感想と反省を述べさせていただきました。実際に準備の様子を見せていただき、毎回大変な準備をしてくださっていることがわかりました。いつもありがとうございます。

後半はブロックに分かれての話し合い。新年度に向けて、新体制についての確認もありました。全体会議の中では総会の話題もあり、年度末が近づいていることを実感しました。

(松戸班 梶原 香織)

## 能登半島地震から1年（その1）

今なお、避難所暮らしをする人がいます。被災地の皆さんには深くお見舞い申し上げます。

能登半島地震は、昨年元旦、16時6分に震度5、16時10分に震度7の地震が発生しました。そして、9月21日は奥能登地方に線状降水帯が発生し、午前中から激しい雨が短時間で降り続き。珠洲市、輪島市、能登町に大雨災害が発生しました。能登地方はダブルパンチをくらい心が折れてしまう状況に見舞われました。

特に元旦の地震では、能登半島特有の地形から山間部を結ぶ道路が各地で寸断され、水道管などのインフラにも甚大な被害をもたらしました。

地震はいつ起こるかわからないがゆえに「いつ起きてもいいように心構えしておくべき」と防災の教訓はあるものの、日本人が一年のうちで最もゆったりと休養している元旦にまさか地震が起きようとは誰も想像できなかったもので、天災の恐ろしさを身に染みて感じられた人は多かったのではないのでしょうか。

全通研は「大規模災害等被災会員に対する会費免除規定」により被災者に会費を免除しています。今回石川県では21人の申し出があり、全員がその対象になりました。この21人のことを決して忘れることはできません。何とか日常の生活を取り戻し安心・安全な暮らしが一日でも早くきてほしいと願うばかりです。

ちば通研だより493号（4月号）では、市川班の中村ゆかりさんに1月28日から2月20日まで道路復旧業務に行かれた様子を報告してもらいました。

中村さんはその後も被災地に出向き、「震災技術派遣と併せ、豪雨災害技術派遣も含め私と主人と入れ替わりでこちらのプロジェクトと兼務しながら往来しています。進捗が遅いというのが実感で歯がゆい思いを持ちつつ、業務にあたっています」との報告を受けました。また、機会があれば状況報告をしてもらいたいと考えております。

台湾では、2024年4月3日にマグニチュード7.4の地震が発生し、花蓮市で震度6強を記録しました。この地震のテレビ報道を見た方の殆どがビックリされたのではないのでしょうか。それは、地震発生後、2～3時間で避難所が設置されテントが体育館に整然と並んでいました。また、イタリアでは国が有給ボランティアを養成し連携して迅速に支援に当たれるようにしているとのこと。

これは、スフィア基準と言われています。災害や紛争の被害者に対する人道支援活動のために策定された「人道憲章と人道対応に関する国際的な最低基準」の通称です。日本も国として、もっと積極的に防災に力を入れてほしいものです。

私たちは、昨年4月21日のちば通研講座Iで片桐卓氏から「『災害に備えて』～あなたは避難所に行きますか～」の講演を聞きました。また、10月19日の地区講座（総武）では外口晴久氏から「『災害図上訓練 マイタイムライン』の体験学習をしました。これからも継続して学習をしていくことが大切ですね。

（広報部長 渡辺 正夫）

## 「ろう重複者とともに よしえが語る！」 Vol. 10

生活介護事業所 「らいおん神明」

千葉聴覚障害者センターから一番近いのが「らいおん神明」です。徒歩2分といったところでしょうか。「らいおん神明」には製品作りをして販売に結びつける人、リハビリをする人、と仲間自身が希望を持って通っています。目配り気配りが行き届き、細やかな配慮のもとでみなさん居心地よく、安心して過ごしています。



【らいおん神明】

「らいおん神明」の仲間は、聴覚障害だけではなく、他の障害を併せ持つ（重複障害者）の方々が通所されています。

そのため、玄関やトイレ等、車椅子対応のバリアフリーになっていてハード面でも安心です。

職員は、仲間が表出した手話表現・・・例えば『痛い』という手話を、その指使いや強弱、スピード、手指や顔の表情も含めて、正確にどんな痛みなのかどの程度の痛みなのかを確認し支援しています。一朝一夕では作れない関係性があってのことです。

仲間同士も一緒に過ごす中で手話や身振りで通じ合い、互いを思いやり気遣ったりという関係性が築かれています。

『らいおんカレンダー 2025』

皆さま、新年を迎えられ、ご自宅や職場には『らいおんカレンダー 2025』を飾っていただいているでしょうか？ こちらのカレンダーは、「らいおん工房」の仲間が作製しています。毎年、本当に心のこもった素敵なカレンダー・・・いえ、作品になっています。2025年と言えば、そうです！デフリンピックです。デフリンピックの過去の開催地を題材として、諸外国の特徴を捉えて描かれた作品となっています。描き方も更に工夫されて素敵な仕上がりです。

また、競技開催場所・競技紹介、開催日までのカウントダウンの記載もあり、これだけでデフリンピックの情報通になれると思います。らいおん喫茶の開催日時も掲載されているのでこちらも注目です。是非、『らいおんカレンダー2025』のご購入をお願い致します。

らいおんぐるーぷの機関紙 No. 165 に『第33回ウルトラ運動会』の笑顔の写真が掲載されていました。千葉県内の福祉施設・福祉作業所からたくさんの仲間や職員さんが参加されています。競技内容は参加者が安全に楽しめるよう動きやルールが、わかりやすく工夫されています。33回も続いている秘訣でしょうね。身体を動かして、交流できる機会は少ないと思いますので、これからも続けていただきたいです。紙面から伝わる楽しそうな様子を見て、2025年は是非応援に行きたいなあと思いました。

（飯泉 よし江）

次回に続く⇒



## 医療班コーナー

### 災害時の健康対策～もしもの時に備えましょう～

#### \* 普段から備えておくこと

- ・ 服用中の薬：予備として約1週間分  
冷所保存の薬剤には保冷バック等  
医師に非常時の服用について確認
- ・ 持病にあった非常食：減塩スープ、全粒粉の食品、水等  
食べ慣れているものを、ローリングストック

#### \* 災害時に発症、悪化しやすい病気や症状

- ・ 感染症：避難所等の衛生環境の良くない場所での生活により、ノロウイルス、インフルエンザ、新型コロナウイルス等が蔓延
- ・ 誤嚥性肺炎：避難生活で食べ慣れない食事や口腔衛生が不十分になり、おこる
- ・ 高血圧：避難生活等で心身にストレスがかかり、心疾患につながることもある
- ・ 不眠、不安、抑うつ：被災による精神的な苦痛やコミュニティの喪失により、時間が経過してから現れることもある
- ・ 認知症：生活の急激な変化で現れることや急速に進行することがある
- ・ せん妄：環境が変わる等をきっかけにして、意識の混乱や認知機能の低下等さまざまな症状が現れることがある

#### \* 普段からフレイル対策をして健康維持に心がけましょう

- ・ 体力のフレイル対策：スクワット等軽い筋トレを習慣に  
日頃から習慣にすることで、避難所等で実践できる。
- ・ 食事のフレイル対策：減塩 麺類の汁は残す。添付の調味料は残す。  
食物繊維 野菜不足に乾物類等を利用する。  
たんぱく質 常温で保存可能なたんぱく質の栄養補助食品等を非常食に活用する。  
水分補給 トイレ回数を減らそうと水分を控えず、意識して摂取する。
- ・ 心のフレイル対策：普段から体を動かすことを習慣にする。  
避難所では、意識して用事を作り、意欲的に活動することで、人や社会と関わりを保つことができる。

\* 医療班コーナー 2021年6月～8月号(フレイル)、2024年1月号(入院に備えて)、2024年度ちば通研講座I(資料)もご覧ください。

**医療班出前講座、サークルや茶話会に喜んで伺います。**

**日時はちば通研事務局を通じてご相談ください。**



## 保育♡子育て支援班

10月14日(月)ちば通研集会が行われました。今年はろう教育と一緒に分科会となり、用意した事例をもとに問題点や解決方法などを話し合いました。

それぞれの立場で考え、どうしていくことが良いのかを探っていきます。

聴覚障害者の参加はありませんでしたが、聴覚障害児の保護者でもある参加者から意見を伺うなど、今までにない分科会となりました。

どちらの事例にも共通することは、聴覚障害者に対する理解不足から起こることで、私たちがそれぞれの立場でできること、どのように理解者を増やしていくか、これからの活動に道筋をつけた学習となりました。

11月24日(日)千葉ろう学校体育館において、「なかまのつどい」があるということで、ボランティアという名目で参加しました。ろう学校の有志の先生が呼びかけて始まった活動だそうです。ろう学校や地域の学校に通う親子が交流できる場を設け、キャンプなど年数回の活動ですが、コロナ禍でしばらくお休みし、今年度再開。この日はデフラグビーの選手と共に体を動かして遊び、笑顔あふれる子どもたちの楽しさを実感しました。

(保育・子育て支援班長 渡辺 裕美)



No.8

### わっこ (矢吹和夏子) 今月のオススメ!



#### 『えほん障害者権利条約』 1,650円

障害者権利条約とは何だろう。どうして、どうやってできたのだろう。と問われた時に答えられる1冊です。難しそうとの声が聞こえてきそうです。でも絵本なので、「権利条約」という言葉が聞きなれない世代でも絵を見ながら読み聞かせなどしてもよいと思います。会話の一つとして繋がるきっかけとなれば嬉しいですね。後半には詳しい解説や歴史年表(なかなか年代や法律の種類を覚えられない方には必見)も掲載されています。

ある方が「違いは、人と人とが会う道であり、学び合いの場でもある」とおっしゃっています。世界中のみんなが大切にされる社会を作るためのヒントがたくさんつまっています。読み終わった後には、元気づけられます。

申込は、ちば通研事務所まで アドレス syuwa@nifty.com

◎ちば通研では書籍等で販売による売り上げの一部をちば通研の活動に充てています。

ぜひ、ちば通研から書籍等を購入してくださるようお願い致します。

少しお時間が掛かり待ち遠しい気分ですが、ワクワクしている時間も大切です。



## 私のイチオシ

…成田班…

私は6年前、難聴のお友達ができました。

そのお友達と初めてろう者の手話イベントに参加しました。お友達はろう者と会うと自分の手首をグーでトントン、相手も同じ様に手首をトントン……

私はその時まだ「お疲れさま」の手話さえ知りませんでした。そのイベントでろうの世界にふれ、手話にどんどんハマっていきました。

それから、手話ミュージカル、手話狂言、男組の手話コント・手話弁士・手話落第語（落語）、舞台手話通訳、またろう者が経営するラーメン屋（麵屋 義）や手話カフェ、ろう者と一緒に京都を観光するサイレントツアー等々を楽しんでいます。

この中で毎年楽しみにしているイベントを2つご紹介します♪

1つ目は日本ろう者劇団の手話狂言です。

手話狂言はろう者の俳優が手話を使って表情豊かに演じ、手話に声のセリフを合わせるのので、聞こえる人も聞こえない人も手話を知らない人も一緒に楽しめます。また、手話狂言が始まる前に黒柳徹子さんのお話があります。その時の手話通訳者は田中清さんで黒柳さんと田中さんの掛け合いしながらする田中さんの手話通訳も楽しみの一つです♪



2つ目は男組です。男組のイベントには手話通訳は付きません。なので、数年前初めて行った時、みんな笑っているのに一緒に笑うことが出来ない淋しさを経験しました。翌年また翌年と少しずつ同じタイミングで笑えることが増え、自分の上達も実感しながら楽しんでいきます♪

私が難聴のお友達から「手話を楽しみながら覚えてね♪」と言われました。そのおかげで今も手話を楽しみながら学んでいるのかもしれない。

私はろう者の手話イベントにはひとりで行くことが多いです。

それは、現地で出会ったろう者と手話でお話ししたり、ろう者の手話を見ることも楽しみたいからです。

もしかするとそれが一番の「私のイチオシ」なのかもしれません(^^)♪♪(AI)

「男組」とは（ホームページより）

2013年、砂田アトム、野崎誠、板橋みつお、江副悟史、今井彰人がコメディを中心にした手話による演劇グループ「男組」を結成。同年10月に旗揚げ公演。全国各地で公演を行っている。舞台のみにとどまらず、テレビ、DVDなどにも多く出演。

## 地域班通信

六つ星班：全通研に入会し初めて参加した大きな集会は茨城県で行われたものでした。内容は覚えていませんが交流会で一人の方の手話劇？「瀬戸の花嫁」を見て感激した事を覚えています。また、福祉対策部？の勉強会で初めて成年後見制度について学んだ時は安心して暮らせる様になると思いました。講演会や勉強会でたくさん学べたことに感謝しております。

市原班：2025年が始まりました。毎年あつという間の一年ですが2024年は本好きの方におすすめの本を聞いて楽しみました。いろいろなジャンルが読めて最高なのです。それを言い訳に自分で買った本は積読本へ。今年は積読本を全て読みたいと思います。通研の活動にもたくさん参加したいです。

鎌ヶ谷班：市内の小学校で1、2年生対象の「出前手話教室」を行いました。聞こえない人は見ただけではわからないこと、手話がわからなくても伝える方法があること、挨拶、名前、簡単な会話や手話歌と盛りだくさんの内容でした。帰る時はみんな笑顔で「ありがとう」の手話をしてくれて温かい気持ちになりました。(AH)

船橋班：少し前、ちば通研講座Ⅱ「健康に働くために」と関東手話通訳問題研究討論集会 in 山梨「手話通訳者の健康」分科会に参加しました。講師・参加者の思いや空気感が感じられる対面はいっ!! 「美味しい」「楽しい」「よく眠れる」ことが大事で健康への秘訣と学びました。(AK)

印西班：ドライアイ？機能低下？感情の高まりに涙がついていけないこの頃でしたが、先日「海の沈黙」の映画を見ました。特に悲しい場面ではなかったのに突然涙が溢れてきました。本木雅弘さんのネガティブでナイーブな人柄がかもし出す深い面差しに涙が誘われたようでした。静かな感動でした。(U)

成田班：地元サークルのクリスマス会で手話通訳者とともに読み取り初挑戦。初出の内容に「まにあわな～い」「言葉が出な～い」と散々な結果に。それにひきかえ手話通訳者の彼女は、言葉が次々と立ち上がる超絶反射神経と芸術的な日本語のセレクトで、きらきらしていました。私の脳内は「師匠と呼ばせて下さいっ!!!!」と叫んでいました。(マケドニア太郎)

白井班：白井市ではかねてからの念願だった防災委員会を、昨年ようやく立ち上げる事が出来ました！協会、サークル、白井班の全員を小学校区毎の班に分けて安否確認訓練もしています。3月には以前から行って来た班員の顔合わせを兼ねた防災交流会を行いますが、第2部として消防署に協力して頂き AED の体験を含めた救命救急訓練と NET119 についての講義を初めて計画しています。

八街班：2025年スタートしました。巳年の「巳」は蛇が脱皮をして成長することとか変化と無限の可能性を意味しているそうですね。心身共に健康で、実(巳)り多き1年になりますように！今年もよろしく願いしまーす。

わかしお班：富山県で行われたろう者のグランドゴルフ大会で、千葉県2連覇に貢献したご夫妻に教えてもらい、グランドゴルフ交流会を行いました。80代～10代まで17人参加。皆初めてです。珍プレー好プレーあり、運動不足解消の楽しい秋の一日となりました。(YK)

富里班：会社のイベントでお客様感謝祭があるのですが、そこに聞こえない方が3名参加。手話であいさつや会話をすることで、大変喜んでもらい、「あなたがいるなら来年も参加するよ」とおっしゃっていただきました。手話を勉強して良かったと思える瞬間でした。(Y)

流山班：新しい年になり、なんと令和も7年!!そして私もこの3月で定年を迎えます。(もう少し再任用で残る予定ではありますが。)特に今年は早い!皆様も元気に楽しく過ごしましょうね。どうぞご自愛くださいませ!(emiko)]

海匠地域班：令和7年が始まります。10月、能登半島地震を経験された方のお話を聞く機会がありました。1日も早く皆様の希望する日常が取り戻せますように、願っております。いよいよ、デフリンピックが開催されますね。本年も健康に気をつけて、色々な活動を続けて行けたらと思います。たくさんの出会いに感謝。

市川班：ドクターXが今回の映画上映でFINALを迎えました。先日も通勤途中NETFILIXで全話見直すほどの大ファンなのでとても感慨深いです。また、院長役だった西田敏行さんが亡くなったのが残念でたまりません。そういえばシーズン4 OPE7で大門未知子が「私失敗しないので」を手話「手術・ぽっ(朝飯前)・私」と表現していましたね。

八千代班：地域ろう協主催のバス旅行に参加した。私自身は、コロナ流行以降初めてのお出かけイベントだ。メインはみかん狩りと東京ドイツ村。この先、個人では絶対に行かないだろうと思い、連れて行ってもらうことに。それぞれの場所での楽しみはもとより、移動のバスの中での他愛ない会話がとても楽しかった。

習志野班：さて、初詣ですが大晦日の深夜零時をまたいで神社仏閣に参拝することを年をまたいでおこなうことから「二年参り」という名前が付いているそうです。長野県や新潟県などの一部の地域で使われる言葉のようです。皆様、良いお年をお迎えください。

松戸班：12月は講演会を開催『テーマ:国際手話とTA-netとの出会い』※前半:聴講、後半:国際手話の表現を体験(参加者19名)。※身近な国際手話を楽しく学べ、今年最後の例会は最高の締めくりとなりました。ありがとうございました(ちなみに(笑)、アメリカの“ありがとう”の表現は“顎に手を当て投げキッスのしぐさです♡”)。

かずさ班：12月1日(日)「ろう高齢者の集い」を開催しました。参加人数は50人。朝からかずさ班のメンバーが集まり、50人分の豚汁、おにぎり100個…作った事がない!!お昼に間に合う?と心配しましたが、そこはベテラン主婦の集まり。流石です。途中トラブルはありましたが、なんとか間に合いました。午後は交流会で、自己紹介から始まり、ジェスチャーゲーム、ティータイム。高齢者の方々の笑顔を見る事が出来て良かったです。(YA)

千葉市班：国際手話のオンライン講座に参加。講師の手話を見て、マネして動かす・・・ん？ん？今どっちに動いた？手の向きどっちだ？もっとゆっくり表現して～。「講師と会話してみたい方、カメラをonにしてください」の言葉に見えていないのに視線をそらし、うつむいてしまう。デフリンピックまで、あと11ヶ月。頑張るぞ！

役員短報

日時：12月1日（日）13:00-16:30  
 会場：オンライン  
 参加者：15人

<主な議題>

- 三役
  - ・デフリンピック気運醸成委員会報告
  - ・次期役員改選について
  - ・全通研 特別決議の英語表記について
- 広報部
  - ・1月号掲載記事の確認
- 定期総会のハイブリッド開催について（地域班会議を受けて）
- 組織部
  - ・各地域班で開催する講演会の参加費（一般）のルールの確認

<部・班の報告>

- 三役から
  - ・11月21日（木）情報提供施設事業運営委員会出席
- 広報部
  - ・「特集 全通研創立50周年記念 ちば通研版」無事終了
- 組織部
  - ・組織部会議 今後原則として第3土曜日8時30分から
- 研究部
  - ・11月23日 研究部会議  
ちば通研集会の報告書を広く周知したい。
- 医療班
  - ・一般会員の人材活用
  - ・ホームページの見やすいレイアウト
  - ・来年度の学習会 毎月最終日曜日
- 健康対策班
  - ・11月30日 会議

- ・来年度事業計画
- TMG
  - ・12月22日 東金市で川根紀夫氏の講演会
- 保育・子育て支援班
  - ・なかまの集いに出席
  - ・来年度「座談会」を計画中
- 労働班
  - ・11月17日 第4回労働班学習会（対面式）中央コミュニティセンターにて。来年度活動計画、全国労働フォーラム報告、ちば通研集会労働分科会報告
- 事務局
  - ・12月22日に中間監査を予定
- 後援会
  - ・来年度の日程はデフリンピックとの兼ね合いで未定
- 関東手話問題研究会
  - ・11月9日 関東通研20周年記念事業
  - ・11月10日 関東集会
- ICT ちば
  - ・グループLineで、定期総会出欠フォームの確認

今後の予定

- 1月4日（日） 役員会
- 1月11日（土） 組織部会議
- 1月19日（日） 労働班学習会  
地区講座（北総）
- 1月25日（土） 地区講座（東総）
- 1月26日（日） 役員会  
保育・子育て支援班学習会  
医療班学習会  
N-Action ちば学習会
- 1月29日（水） 広報部会議
- 1月31日（金） サポーターズ印刷日

## お知らせ

○ちば通研ホームページにアクセス  
アドレスは以下のとおりです。

<http://syuwa-chiba.la.cocacn.jp>

QRコードでホームページに  
アクセスできます。

会員専用ページは  
パスワードが必要です。



○ちば通研へのお問い合わせ

ちば通研への連絡は下記のアドレスへ。

E-Mail: [syuwa@nifty.com](mailto:syuwa@nifty.com)

○原稿募集

原稿掲載にあたり、150字程度でお名前は本名  
もしくはニックネームを明記。

次号の原稿締切は1月15日(月)です。

E-Mail: [c-koho@c2ken.sakura.ne.jp](mailto:c-koho@c2ken.sakura.ne.jp)

FAX: 043-247-1201(早朝・深夜は不可)

## 会費の納入のお願い

2024年度の会費納入をお願いしています。

会費は振込にてお願いいたします。振込先は以下の  
とおりです。なお、申し訳ありませんが振込手数料は  
ご負担ください。複数人まとめての納入は、全員の名  
前をご記入ください。

○年会費

会費 10,000円

読者会員 6,500円(聴覚障害者のみ)

○郵便振込先

口座番号: 00120-4-708239

加入者名: 千葉県手話通訳問題研究会

※ゆうちょダイレクトで振込の場合は、月5回まで  
無料です。

## けいわん 110 番

＜医療的な相談窓口＞

滋賀医科大学社会医学講座(衛生学)

TEL: 077-548-2187

FAX: 077-548-2189

＜仲間を守る取組みに関する相談窓口＞

FAX: 057-451-3281

\*何かありましたら、いつでも、ちば通研健  
康対策班に、ご相談ください。

FAX: 043-247-1201

○安否確認の報告はこちらへ

ちば通研では、2014年度から安否確認訓練  
をしています。最近、災害はいつ起きてもお  
かしくない状況です。そのため、会員の安否確  
認をよりスムーズにするため、専用のフォーム  
を開設しました。

災害の時は、自分から

アクセスして状況を

ちば通研に報告してください。

<https://forms.office.com/r/5bav1TCt53>



## あ と が き

新春のお慶びを申し上げます

いよいよデフリンピックイヤーの幕開け  
です。デフリンピックが最初にパリで開催  
されてから100年、その記念の年に東京大  
会が開催されます。11月に向けてデフリン  
ピックの気運を醸成し、皆で力を合わせて  
大会を成功させましょう！手話通訳、ボラ  
ンティア、応援団等々いろいろな関わり方  
があると思います。臨場感溢れる体験記を  
この通研だよりに是非お寄せください。(K)

手話の読み取り、どうしたらできるよう  
なるのかなと思う日々です。いずれ笑い話  
になるといいのですが(笑)。動画を観てい  
る時にわからない表現が出てくると、もう  
そのことにとらわれてしまって後の読み取  
りができなくなってしまいます。手だけを見  
てはダメ、口形を見るのよと講座で教わ  
りましたが・・・。「焦らず頑張る」と自分  
に言い聞かせています。本年も何卒よろし  
くお願いいたします。(YK)

12

ちば通研のスローガン 「全員主役 全員集合 全員笑顔」

ちば通研 E メールアドレス [syuwa@nifty.com](mailto:syuwa@nifty.com)